

報告事項 No. 1

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回守谷市地域自立支援協議会		
開催日時	令和4年5月27日（金） 開会：15時40分 閉会：16時05分		
開催場所	守谷市役所 大会議室		
所管課	健幸福祉部 社会福祉課		
出席者	委員	城賀本会長、新田委員、細田委員、稲田委員、清水委員、安孫子委員、小野寺委員、染谷委員、酒井委員、樋口委員、石福委員 計11名	
	事務局	羽田課長、千葉主任 計2名	

審 議 経 過

1 開 会

2 議 題

(1) ボランティアニーズの把握について（協議事項）

守谷市障がい者福祉計画（第3期）に基づき、ボランティアニーズの把握を実施することについて説明があった。

委員から次のような意見や質問があった。

【意見】

ボランティアの高齢化というのは仕方ないとして、それに対して市はどのような対策を考えているのか。このままというわけにはいかないと思うし、ボランティア協会に任せるというわけにもいかない。

【説明・回答】

人口の高齢化は全体的な課題と考えている。60代で勤めている方もいるところで、仕事とのバランスも考えていく必要があると思う。

ボランティアは、活動するための時間を取らなくてはならないというイメージが強いと思っている。そうではなく、基本的に時間が取れる時にできる範囲の活動をするのと認識をしていただき、その認識が広まった中で、どういう活動がボランティアなんだということを広めていければと考えている。

この認識を広めていくには、50代くらいの世代が参入していくような仕組みが、必要と思っている。

ただし、それを市だけで行っていくのは難しい。ボランティアの育成支援となってくると、社会福祉協議会の力が必要になってくると思っている。社会福祉協議会とうまくタイアップしていく方法を考えていかなければならない。

【意見】

いろんなボランティアがある。市民活動支援センターに登録されているボランティアもある。社会福祉協議会のボランティアは福祉ボランティアで、市民活動支援センターの登録ボランティアとはその辺が少し違う。市民活動支援センターとも連携を図っていく必要がある。

【意見】

市民活動支援センターなら若い人も参加されている。幅広い年齢の組織でやっていかないとなかなか難しい。

【意見】

市民活動支援センターがどういう動きをしているのかも含めて、市民活動支援センターの活動のプレゼンテーションをしてもらってはどうか。市民活動支援センターがボランティアを必要としているとはあまり聞いたことがない気がする。だから潤沢にボランティアがいるのではないかと捉えてしまうことがある。

【意見】

市民活動支援センターの方に来ていただいて、話を聞かせていただくのもいいと思う。

【意見】

個人でボランティア登録するのは難しいのではないかな。

【意見】

個人でボランティア登録はしていない。団体などで登録、活動している。

【意見】

そうなると高校生がボランティア登録できない。やりたいと思っても、自分が大学生になって成人していないと、保護者の同意がなければボランティアができない。そこのハードルはどうなるのか。幅広くやっているというが、ボランティアをしたいという高校生たちは、参加の機会がつかないのか。

この前市役所で行われた献血で守谷高校の生徒が一生懸命やっていたが、あれは団体としての活動として行っていたようだが、個人で登録に行くとなかなかできるボランティアはない。

【説明・回答】

市民活動支援センターと調整して、具体的な説明をしてもらい、市民活動支援センターにおけるボランティア活動について認識できるような形を取りたいと思う。

【意見】

このアンケートが届いた時に、答える人に向けてどういう工夫があったら回答しやすいのか考慮してはどうか。3障がい（身体・知的・精神）があるので、アンケートがより多く回収できるような工夫が必要だと思った。障がい別に用意するとなかなか難しいことだと思う。

だいたい市でこういった調査を行ったアンケートなど、発送の半分くらい返ってくればいいのかと思うが。

【説明】

前回の時で半数を少し超えたくらいだった。なるべく回答は多くいただきたいので、委員の言うとおりに、身体・知的・精神のいわゆる3障がい、具体的な課題は違ってくると思う。答えやすい工夫について、様々な方の意見を聞き取りするなどしながら、アンケートの設計を考えていきたい。またこの会議でご意見をいただくことを考えている。

【意見】

実際にアンケートに答える人に意見を聞いてみるのもいいのではないか。

【説明】

委員の所属する事業所の利用者から、アンケートについて問い合わせがあるかもしれないので、その際にご協力をお願いしたい。

【意見】

守谷市障がい福祉サービス事業所連絡協議会でも協力できることは協力していきたいと思う。定例会などで市から説明してもらえると、我々の分野からの回収率は非常に上がるのではないだろうか。回収率が高ければ、それだけいいものができるだろうから、協力できることは協力させていただきたい。

3 閉 会